

〔国際会議開催〕

申 請 者	室蘭工業大学 准教授 工藤 康生	2045008
国際会議名称	第 10 回グラニューラーコンピューティングに関する国際会議 (IEEE GrC 2014)	
開 催 期 間	2014 年 10 月 22 日～10 月 24 日	
開 催 場 所	登別グランドホテル (北海道登別市)	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

グラニューラーコンピューティングに関する国際会議 (Granular Computing (GrC) : 直訳 粒状計算) は、人工知能 (コンピュータやロボット) と人間との円滑な関わりなど、人間主体の知識表現の情報処理モデルとして有効性が期待される、情報の「粒」の概念に関する理論的基礎づけから実問題への応用まで、先端研究を発表し情報交換を行うことを目的とし、情報科学を中心に、人工知能、ファジィ理論、データマイニング、ヒューマンコンピュータインタラクションなど、幅広い分野の研究者が集う国際会議である。第 10 回となる今回の会議は、グラニューラーコンピューティングに特化した国際会議としては初の日本開催である。

会議は 2014 年 10 月 22 日から 10 月 24 日の 3 日間、北海道登別市の登別グランドホテルにて開催され、国内から 33 名、海外からは台湾、中国、ポーランドなど 9 か国から 29 名の計 62 名が参加した。会議の規模は小さいものの、グラニューラーコンピューティングやラフ集合に関する基調講演やチュートリアル、データマイニング、ソフトコンピューティング、クラスタリング、生体情報処理などに関する招待講演、一般、企画合わせて 16 回のセッションが開催され、充実した内容の議論が行われた。グラニューラーコンピューティングを介して国内外の研究者が討論・交流する場を提供することができ、また、国内外から多くの学生が発表者として参加できたことから、グラニューラーコンピューティングの今後の発展に多少なりとも寄与できたと考えている。